

事務事業名		岩手県後期高齢者医療広域連合運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業
政策体系	政策名	0 2 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間	
	施策名	0 8 生涯にわたる健康づくりの推進		区分	
	基本事業名	0 2 地域医療の充実		単年度繰返	
根拠法令		高齢者の医療の確保に関する法律		※期間欄に開始年度を記入	
所属	部課名	市民生活部国保医療課		【開始年度】	
	課長名	佐々木 直央		平成18 年度～	
	係名	医療給付係	電話	0192-27-3111	
	担当者	藤原 美子	内線	145	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
岩手県後期高齢者医療広域連合に係る市町村負担金(共通経費負担金、医療給付に要する負担金、保険料負担金、保険基盤安定負担金)を支払う。				総投入量(千円)	
				事業費	財源内訳
				国庫支出金	
				都道府県支出金	
				地方債	
				その他	
				一般財源	
				事業費計(A)	0
				正規職員従事人数	
				延べ業務時間	
				人件費計(B)	0
				トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動) 岩手県後期高齢者医療広域連合に係る市町村負担金を支出した。	名称 単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ	ア 関係市町村負担金 千円
	イ
	ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 岩手県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療被保険者	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
	名称 単位
	カ 後期高齢者医療被保険者数(年度平均) 人
	キ
	ク
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 後期高齢者医療制度が健全・円滑に運営される。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
	名称 単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 後期高齢者が将来にわたり安心して医療サービスが受けられる。	サ 後期高齢者医療制度による療養給付額 千円
	シ
	ス

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	86,266	85,093	93,702	96,180	108,726	115,251	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	780,143	774,989	801,444	818,440	875,654	900,436	
	人件費	事業費計(A)	千円	866,409	860,082	895,146	914,620	984,380	1,015,687	
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	2	2	2	2	2	2	
		人件費計(B)	千円	8	8	8	8	8	8	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	866,417	860,090	895,154	914,628	984,388	1,015,695	
⑤活動指標	ア	千円	866,409	860,082	895,146	914,620	984,380	1,015,687		
	イ									
	ウ									
⑥対象指標	カ	人	7,431	7,303	7,328	7,456	7,568	7,681		
	キ									
	ク									
	ス									
⑦成果指標	サ	千円	4,910,240	4,582,241	4,823,557	5,113,620	5,190,000	5,267,000		
	シ									
	ス									

事務事業ID	1309	事務事業名	岩手県後期高齢者医療広域連合運営事業
--------	------	-------	--------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	高齢者の医療の確保に関する法律により、平成20年4月に高齢者医療制度が創設され、同法第105条に市町村が広域連合に保険料等を納付することが定められている。また、岩手県後期高齢者医療広域連合規約(平成19年11月22日施行)に、広域連合の経費は関係市町村の負担金を充てることが規定されている。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	高齢化の進展による被保険者数の増加と医療の高度化により、療養給付費負担金、保険料負担金は増額傾向にある。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 広域連合が主体となる保険制度の創設により、安定的な財政運営が図られ、老人保健医療の充実につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 高齢者の医療の確保に関する法律及び後期高齢者医療広域連合規約で市町村の負担が定められており、市の関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 高齢者の医療の確保に関する法律に則っており、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 法律で給付割合が定められており、法改正以外に成果の向上は考えにくい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 法律及び規約で市町村の負担が定められており、市町村の判断で廃止・休止することはできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 広域連合への負担金は、広域連合議会で議決された予算で決定されており、市の判断で削減することはできない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 担当者1人で対応しているため、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 法律及び規約で市町村の負担基準が定められており、適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	後期高齢者医療制度は、原則75歳以上の後期高齢者を対象とし、都道府県単位で制度運営を行っていることから、引き続き、岩手県後期高齢者医療広域連合と調整を図り事業を進めていく。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	今後も、現状のとおり継続して事業を実施する。